

## 課題解決型高度医療人材養成プログラム 事業の概要と推進委員会からの主なコメント

〔取組1〕医師・歯科医師を対象とした事業  
 (1) 横断的な診療力とマネジメント力の両方を兼ね備えた医師養成  
 テーマ：病院経営支援に関する領域

|  | 整理番号                              | 7 |
|--|-----------------------------------|---|
| 申請担当大学名<br>(連携大学名)   | 高知大学<br>(香川大学、高知工科大学、高知県立大学) 計4大学 |   |
| 事業名  | 地域医療を支える四国病院経営プログラム               |   |
| 事業責任者  | 大学院総合人間自然科学研究科医科学専攻長・医学部長 本家孝一    |   |
| <b>事業の概要</b>   |                                   |   |
| <p>国立大学病院などの基幹病院には、地域における外部環境と自院の内部環境を冷静に分析し、継続性のある企業体を維持するための戦略を構築する必要がある。経営とは、各種ステークホルダーの「納得解」の創出であり、そのためには多面的・複眼的視野が必須となる。地域特異性が高い病院経営では、ヒト・モノ・カネ・情報の経営4資源をバランスよく見定める経営の基本に加えて、地域その他機関との関係を良好に保つ“協調戦略”が必要となる。本プログラムは、四国唯一の公衆衛生学修士コースを母体としており、四国エリアの病院経営者や経営幹部が一堂に集まることで、四国エリアならではの経営課題を創出し、四国エリアの県民性や文化、歴史を熟知する各ステークホルダーによる“実践的な”解決策を見いだせる。本プログラムにより、「即戦力」を鍛えるカリキュラムを新たに導入することで、待ったなしの病院経営分野に突破力がある人材を送り込む。</p> |                                   |   |
| <b>推進委員会からの主なコメント</b> ○：優れた点等、●：改善を要する点等   |                                   |   |
| <p>○企業との連携に加え、複数の非医学系他大学との連携をカリキュラムに取り入れている点は、病院経営人としての多角的な視点を付加する上で重要であり高く評価できる。</p> <p>○病院経営に関心を持つ企業・団体からの寄附による寄附講座の開設、受講料の徴収による独立採算の実現が計画されており、事業の継続性の観点から評価できる。</p> <p>●公衆衛生学修士コースが母体となっているが、公衆衛生学の学位は病院経営支援というテーマとの関係性に乏しい。</p> <p>●地域性を考慮しつつも、他大学との連携方法や連携による効率的な事業の実施方法が不明確である。</p>   |                                   |   |